

総合的な探究の時間

市の人口減少について

対象:1学年普通科生徒

令和6年12月12日(木)7校時

五所川原市役所のふるさと未来戦略課の関さんをお招きして、来年度から本格的に始まる探究活動の導入として、市の課題である人口減少について講義していただきました。

人口減少とは、自然減と社会減の2つの組み合わせで起こるそうです。自然減とは、出生者数より死亡者数が上回ることによって起こる減少です。もう1つの社会減は、転入者より転出者が上回ることによって起こる減少になります。日本の人口減少は、2010年を境として緩やかに減少していますが、実は五所川原市は1980年代から減少が始まっていました。現在の五所川原市の人口減は、自然減が主要因です。これが進行すると市の労働人口がますます減少していきます。市では、2040年に人口の半分が高齢者になることから、高齢社会を見据えた政策づくりをしています。出産・子育てしやすい環境づくり、健康寿命を延ばして長生きできる福祉政策、働く場づくりやUターンしたい人への仕事のマッチングなどによる経済の活性化、教育、街づくりの4つの分野について取り組み、市民一人一人を支える五所川原を目指しているそうです。

今回の講義に使用した資料に引用元が書かれており、総合的な探究で、自分が探究する内容に活用できそうな内容が何に属しているかを見つけ、その文献にあたり探究活動をするのがいいのではないかと話していました。



生徒から関さんへの質問

Q:現在、五所川原市の観光業、主に歴史的観点から街を活性化するために取り組んだ政策とかはあればお教えください。

A:過去には、金木地区で太宰治の生家がある金木地区で、アニメ文豪ストレイドッグスというアニメとコラボして街を活性化した例があります。

Q:「豊かな教養を育む教育・人づくり」は、人口減少とどのように関わっているのかを教えてください。

A:第1に、市民が地域でできる仕事を知らない現状がある。また、就きたい仕事があっても技術が足りない場合もある。市は、学校教育だけでなく、生涯学習へのサポートにも力を入れ、地域で働く人々にとっての住みよいまちづくりを目指しています。